

京都市美術館リニューアル準備業務委託事業者選定実施要領

1 目的

この要領は、京都市美術館のリニューアル準備に係る業務を行うため、プロポーザル方式により委託事業者を選定する手続について、必要な事項を定める。

2 委託予定上限額

61,000,000円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

3 **別紙1** 委託仕様書の位置付け

委託仕様書は、受託者が実施すべき内容等について最低限度の基準を定めたものであり、受託候補者を選定するプロポーザルの提案内容を踏まえ、受託候補者の選定後、委託内容等について受託候補者と協議を行い、委託契約を締結する。その際、委託仕様書に変更が発生する場合は、受託候補者に対して、予算の範囲内において見積額の変更を依頼する場合がある。

4 参加資格

受託候補者の選定に当たっては、次の(1)又は(2)のいずれかの要件を全て満たしていることを前提とする。

(1) 京都市競争入札参加有資格者名簿に登録されている者であって、かつ、次のアからエに掲げる条件を満たす者。

ア 参加申込み日から参加資格の確認までの期間に、京都市競争入札等取扱要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止を受けていないこと。

イ 本件プロポーザルに参加しようとする個人、法人の代表者又は個人若しくは法人の代表者の委任を受けた者（以下「代表者等」という。）が、本件プロポーザルに参加しようとする他の代表者等と同一人でないこと。

ウ 代表者、役員、又はその使用人が刑法第96条の6又は第198条に違反する容疑があったとして逮捕もしくは送検され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された日から2年を経過しない者でないこと。

エ 法人又は代表者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第3条又は第8条第1項第1号に違反するとして公正取引委員会から排除措置命令若しくは課徴金納付命令を受け、同委員会から告発され、又は逮捕され、若しくは逮捕を経ないで公訴を提起された日から2年を経過しない者でないこと。

(2) 次のアからケに掲げる条件を満たす者。

ア 契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者でないこと。

イ 地方自治法施行令第167条の4第2項各号のいずれかに該当し、3年を経過しない者及びその者の代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する者でないこと。

ウ 引き続き2年以上、当該営業を営んでいること。

エ 法人税又は所得税及び消費税の未納がないこと。

オ 京都市の市民税及び固定資産税の未納がないこと。

カ 京都市の水道料金及び下水道使用料の未納がないこと。

キ 法令の規定により、当該営業について、免許、許可又は登録等が必要な場合は、当該免許、許可又は登録等を受けていること。

ク 京都市暴力団排除条例第2条第4号に規定する暴力団員等又は同条第5号に規定する暴力団密接関係者でないこと。

ケ 4(1)イ、ウ、エに掲げる条件を満たすこと。

5 参加業者の受付・提案書の提出

(1) 提出資料（各8部）

- ア 参加申込書 第1号様式
- イ 統括責任者調書 第2号様式
- ウ 配置人員調書 第3号様式
- エ 業務提案書 第4号様式
- オ 業務実施に関する調書 第5号様式
- カ 見積書 第6号様式

(2) 提出期限

(1)のア 平成30年6月6日（水）必着（持参の場合は午後5時まで）

(1)のイ～カ 平成30年6月20日（水）必着（持参の場合は午後5時まで）

※ 委託仕様書等についての質問がある場合は、下記10の提出先に平成30年6月6日（水）午後5時までに、FAX又は電子メールで送付すること。回答は、質問者及び参加申込書提出者に対して、平成30年6月13日（水）までにFAX又は電子メールで行う。

6 提出資料記載上の留意点

以下の留意点及びWEBサイト「京都市情報館」で公開する本「実施要領」、「委託仕様書」等を熟読のうえ、書類を提出すること。

(1) 統括責任者調書 第2号様式

過去10年間における業務実績について記載すること。なお、統括責任者は担当業務完了まで特別な事情がない限り変更はできない。

(2) 配置人員調書 第3号様式

過去10年間における業務実績について記載すること。なお、配置人員は担当業務完了まで特別な事情がない限り変更はできない。

(3) 業務提案書 第4号様式

第5号様式の表紙として記入すること。

(4) 業務実施に関する調書 第5号様式

ア 業務実施方針

本業務における会社としての取組方針、取組体制、配慮する事項について記入すること。

イ 業務実施手法

別紙1委託仕様書「2 委託目的」に記載する京都市美術館再整備事業の意義・目的、今後の事業の方向性を踏まえて、別紙1委託仕様書「3 委託業務内容」に記載する各業務について、具体的なアイデアを含めて提案すること。

(5) 見積書 第6号様式

本業務の受託見積金額（消費税及び地方消費税を含む。）を本様式に記入し、本様式とは別に応募者で使用している様式での見積書（内訳付き）も提出すること。

7 審査方法

(1) 選定方法

別紙2「京都市美術館リニューアル準備業務委託評価基準」に基づき、応募事業者からの提出資料及び応募事業者に対するヒアリングにおいて、審査・選定を行う（ヒアリングは、平成30年6月22日（金）に行う予定であり、場所及び詳細な時間については、別途連絡する）。

なお、合計点が70点を下回る場合は、受託候補者として選定しない。また、応募事業者が1者のみであっても、プロポーザルが成立することとし、参加資格及び評価基準に照らし、審査・選定を行う。

(2) 評価項目

別紙2「京都市美術館リニューアル準備業務委託評価基準」を参照

(3) 審査委員

審査は、以下の委員が行う。

【審査委員】（6名）

文化市民局共同参画社会推進部文化市民総務課長

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課長

文化市民局美術館副館長

文化市民局美術館総務課長

文化市民局美術館総務課担当課長

文化市民局美術館学芸課長

(4) 選定結果内示の通知

審査結果については平成30年6月下旬までに、参加者全員に FAX 及び電話により通知するとともに、各応募事業者の名称及び評価結果をホームページに公表する。また、審査結果についての異議申立は受け付けない。

8 契約の締結

選定された受託候補者については、契約内容についての交渉を行い、合意した後に契約を締結する。

ただし、受託候補者と契約に至らなかった場合は、受託候補者の選定において順位の高かった者の順に受託候補者として交渉を行う。

9 その他重要事項

(1) 提出書類の作成及び提出に係る費用は、応募者の負担とする。

(2) 提出された書類は返却しない。

(3) 提出期限以降における提出資料の差替及び再提出は、明らかな誤字脱字等があるときで、本市の承諾を得た場合のほかは認めない。

(4) 提出書類に記載した配置人員は変更することができない。

(5) 業務提案書に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていない場合は、失格となることがある。

(6) 見積書に記載された見積金額が委託料上限額を超えた場合は、失格となる。

(7) 提出資料に虚偽の記載をした場合は、提出資料を無効にするとともに、虚偽の記載をした者に対してはその名を公表し、今後実施するプロポーザル及び京都市競争入札等取扱要綱に規定される競争入札への参加を停止する場合がある。また、契約締結後に発覚した場合は、契約を解除し、違約金を請求する場合がある。

(8) 本業務の受託によって、本件に関連する業務等を優先的に受託できることはない。また、関連する業務の受託資格に影響を及ぼすこともない。

10 提出先

京都市文化市民局美術館総務課（藤田，葉山）

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124番地

TEL：075-771-4107 FAX：075-761-0444

メール：bijutsukan@city.kyoto.lg.jp